

「老いと向き合う」

(2019年度 介護サービスと地域医療の連携意識の向上を図るための講演会)

姫路市では、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に受けることができる体制づくりを目指して、さまざまな取り組みを行っています。

今回は、住み慣れた地域で最期まで自分らしく安心して過ごせるよう、在宅医療介護連携の取り組みや在宅緩和ケアについてご講演いただき、皆さんと一緒に考える機会として「もしバナゲーム」を通して人生の最後にどう在りたいかを考える機会を提供します。

日時：2019年11月23日(土)

14:00~16:30 受付 13:30~

場所：姫路市総合福祉会館 5階 第1会議室

〒670-0955 姫路市安田三丁目一番地 姫路市総合福祉会館

参加費：無料 定員：80名(※先着順)

10月10日(木)~11月20日(水)までに下記連絡先にお申込みください。

<プログラム>

第1部 基調講演 「最後まで自分らしく生きるために~在宅医療の現場から~」

講師 **吉村 純彦** 先生(姫路医療センター 緩和ケア内科 医長)

姫路市内における、在宅医療の実際、緩和ケアや看取りのケアの実践支援の取り組みについて講演をしていただきます。

第2部 「意見交換会」 ~もしバナゲーム~

講師 **石橋 美穂** さん(もしバナマイスター 看護師)

講演をお聞きいただいた市民の方々と医療・介護関係者で、「もしバナゲーム」を行い、人生の最期にどう在りたいか、もしものための話し合いができる機会をつくり、一緒に考える意見交換会をします。さまざまな立場の方の考えを聞きながら自分のことや、大切な家族が最後まで自分らしく生きること考えていただきます。

<お問い合わせ先>

特定非営利活動法人 はりま総合福祉評価センター 事務局

TEL: 079-287-3000 FAX: 079-287-3200 メール: harima-3@h-294.com

※ この事業は、はりま総合福祉評価センターが姫路市より委託を受けて実施しています。